

省エネ住宅で「4冠」

室蘭・住まいのウチイケ

断熱性能や営業手法評価

の優れた住宅に贈られる「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2015」の特別優秀賞、優秀賞2件、審査委員長賞を受賞した。断熱性能、営業手法などが総合的に評価され、前年度のトリプル受賞を超える「4冠」に輝いた。

一般財団法人日本地域開発センターが毎年認定。大賞に次ぐ特別優秀賞は、同社が14年から施工し、「光熱費ゼロ」をうたう高気密・高断熱住宅「エコハウスゼロ」が前年度に続いて選ばれた。今回(全国)で29件、道内では2件のみの受賞。同住宅は同時に審査委員長賞も受けた。

優秀賞は、同社が01年から住宅「エコハウス」と、昨ら施工している標準仕様の一年から売り出したコンパクト



内池代表取締役とエコハウスゼロ(右)、U-BOXの模型

ト住宅「U-BOX(ユーボックス)」の2件が受賞した。

断熱性能を表すU値が、エコハウスゼロは道の省エネ基準0.46を大きく上回る0.185、エコハウスとU-BOXも0.33と高水準。加えて営業マン全員が一般住宅と同社施工住宅の光熱費の計算を行い、数値の比較ができるのが強み。こうした「省エネの見える化」の営業手法も評価された。

内池代表取締役は「2001年以来の地球環境に優しい家造りが評価され、大きな喜びを感じる。次は大賞を目指したい。そして、地方の小さな会社でも日本一、世界レベルになれることを証明したい」と夢を膨らませている。(山田晃司)